

まちづくり交付金 フォローアップ報告書  
池上・伯太・北信太地区

平成23年3月

大阪府和泉市

1. 数値目標の達成状況の確認(確定値)

様式4-① 都市再生整備計画に記載した目標を定量化する指標の確定

指標	単位	従前値	目標値	事後評価				フォローアップによる確定値	計測時期	フォローアップ時点での達成度	確定値が評価値と比較して大きな差異がある場合や改善が見られない場合等		総合所見
				評価値	見込み・確定の別	目標達成度	1年以内の達成見込み				理由	改善策の方向性	
指標1	観光資源の認知度	%	38.5	60	70	確定見込み ●	○	ありなし	60.7	H22年12月～H23年1月	○	<input type="checkbox"/> 改善策はそのまま <input type="checkbox"/> 改善策に補強が必要 <input type="checkbox"/> 新たに改善策をたてる	歴史資源を巡る回廊の整備や観光パンフレットによるPRの相乗効果が現れた。
指標2	地域来訪者数	人/年	283,731	320,000	150,000	確定見込み ●	×	ありなし ●	186,010	H21年11月～H22年10月	△	<input type="checkbox"/> 改善策はそのまま <input type="checkbox"/> 改善策に補強が必要 <input type="checkbox"/> 新たに改善策をたてる	数値目標から低い水準であるが、各種イベントでの活用等により、増加傾向が見られる。
指標3	空き店舗解消数	店舗数	20	10	19	確定見込み ●	×	ありなし ●	18	H23年2月	△	<input type="checkbox"/> 改善策はそのまま <input type="checkbox"/> 改善策に補強が必要 <input type="checkbox"/> 新たに改善策をたてる	歴史資源を巡る回廊の整備や観光パンフレットによるPR、土地区画整理事業等による相乗効果が現れた。
指標4						確定見込み		ありなし		H 年 月		<input type="checkbox"/> 改善策はそのまま <input type="checkbox"/> 改善策に補強が必要 <input type="checkbox"/> 新たに改善策をたてる	
指標5						確定見込み		ありなし		H 年 月		<input type="checkbox"/> 改善策はそのまま <input type="checkbox"/> 改善策に補強が必要 <input type="checkbox"/> 新たに改善策をたてる	

事後評価シート 様式2-1及び添付様式2-①から転記 ※全ての指標について記入

※フォローアップの必要のある指標について記入

※全ての指標について記入

様式4-② その他の数値指標の確定

指標	単位	従前値	目標値	事後評価				フォローアップによる確定値	計測時期	フォローアップ時点での達成度	確定値が評価値と比較して大きな差異がある場合や改善が見られない場合等		総合所見
				評価値	見込み・確定の別	達成度	1年以内の達成見込み				理由	改善策の方向性	
その他の数値指標1	信太の森ふるさと館の来館者数	人/年	8,699	/	10,000	確定見込み ●	/	/	9,457	H21年11月～H22年10月	/	<input type="checkbox"/> 改善策はそのまま <input type="checkbox"/> 改善策に補強が必要 <input type="checkbox"/> 新たに改善策をたてる	歴史資源を巡る回廊の整備や観光パンフレットによるPRの相乗効果が現れた。
その他の数値指標2	北信太駅のレンタサイクルの利用者数	人/年	426	/	450	確定見込み ●	/	/	586	H21年11月～H22年10月	/	<input type="checkbox"/> 改善策はそのまま <input type="checkbox"/> 改善策に補強が必要 <input type="checkbox"/> 新たに改善策をたてる	歴史資源を巡る回廊の整備や観光パンフレットによるPRの相乗効果が現れた。
その他の数値指標3			/	/	/	確定見込み	/	/		H 年 月	/	<input type="checkbox"/> 改善策はそのまま <input type="checkbox"/> 改善策に補強が必要 <input type="checkbox"/> 新たに改善策をたてる	

事後評価シート 様式2-1及び添付様式2-②から転記 ※全ての指標について記入

※フォローアップの必要のある指標について記入

※全ての指標について記入

## 2. 今後のまちづくり方策の検証

### 様式4-③ 「今後のまちづくり方策」の進捗状況

事後評価シート 添付様式5-③に記載した今後のまちづくり方策(事項)		実施した具体的な内容	実施した結果	今後の課題 その他特記事項
<ul style="list-style-type: none"> <li>成果を持続させるために行う方策</li> </ul>	歴史資源の継続した活用	過去の調査で池上曽根史跡公園に立ち寄る機会が最も少ないという結果が出た高校生を中心とした集客を図るため、平成21年度から新たに文化財活性化事業の一環として大阪府下約20校による高校軽音フェスタを実施した。	<ul style="list-style-type: none"> <li>開催日が雨だったにもかかわらず、約9,800人の集客があり、年間来訪者の増加に大きく貢献した。</li> <li>市内のみならず市外からも多くの来訪者があった。</li> </ul>	更なる来訪者の増加に向け、引き続き地元のボランティアの方や観光ボランティアガイドの方の協力を活かしながら取組みを継続していく。
	観光案内人の育成	<ul style="list-style-type: none"> <li>第4期目となる観光ボランティアガイドの養成講座を行った。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>28名の受講生の参加があった。</li> </ul>	講座を受講しても和泉観光ボランティアクラブに加入されない方もあり、養成講座の受講生を増やすとともに和泉観光ボランティアクラブの組織化や活用方策についても検討していく必要がある。
改善策 <ul style="list-style-type: none"> <li>まちづくりの目標を達成するための改善策</li> <li>残された課題・新たな課題への対応策</li> <li>その他 必要な改善策</li> </ul>	駅周辺の賑わいの再生	ウォーキングイベントのコースへの北信太駅の組み入れ、クロスカントリー大会会場への送迎バスの発着場としての信太山駅の活用などを行った。	ウォーキングイベントでは北信太駅を通るコースは平成21年、平成22年とも約1,000名が参加した。また、クロスカントリー大会会場への信太山駅からの送迎バスについては毎年約1,000名程度の利用がある。	店舗などが不足しており、各種イベントで来訪した方を受け入れるための十分な体制がない。

事後評価シート 添付様式5-③から転記

### 様式4-④ フォローアップにより新たに追加が考えられる今後のまちづくり方策

追加が考えられる今後のまちづくり方策	具体的内容	実施時期	実施にあたっての課題 その他特記事項
市内外への認知度の向上のためJR西日本等、公共機関との連携による集客方策の検討	JR阪和線の北信太、信太山、和泉府中の各駅を起点、終点として活用したイベント事業等を行い、鉄道利用者と地域来訪者の増加につなげる。	平成23年度以降	JR西日本の鉄道事業に寄与しつつ地域の活性化につながるような事業を創出する必要がある。また、地元ボランティアや観光ボランティアとの連携の強化が必要。